

平成 29 年

第 13 回

薩摩川内市教育委員会  
(定例会)

会 議 録

平成 29 年 12 月 26 日

## 第13回 薩摩川内市教育委員会定例会

1 期 日 平成29年12月26日(火)

2 場 所 市役所5階 教育委員会室

3 出席委員 教 育 長 上屋 和夫 教育長職務代理者 三本 伴子  
委 員 上川 幸子 委 員 坂口 由一  
委 員 軍神利喜男

4 説明のために出席した職・氏名

教 育 部 長	宮里 敏郎	教育総務課長	小原 雅彦
学校施設整備室長	上口 憲一	学校教育課長	熊野 賢一
社会教育課長	十島 輝久	文化課長代理	上原 俊郎
中央図書館長	本野 啓三		

5 記 録 者 教育総務課課長代理 橋口 公男

6 傍 聴 者 なし

7 日 程

(1) 会議録承認

(2) 諸般報告

(3) その他

① 2学期制の導入について

② 1月行事予定について

③ その他

開会時間 13時30分

教 育 長 ただ今から、平成29年第13回薩摩川内市教育委員会定例会を開会します。本日の欠席状況について、事務局から説明をお願いします。

事 務 局 本日は文化課長が欠席のため、上原課長代理が出席しています。また、少年自然の家所長は昨日からの「ぼっけもんの挑戦」従事のため、欠席となっています。

教 育 長 平成29年第12回定例会会議録についてお諮りします。会議録を承認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

教 育 長 平成29年第12回会議録は承認されました。

教 育 長 次に会議録署名委員の指名を行います。上川委員を会議録署名委員に指名します。

教 育 長 続いて、諸般報告について、教育総務課・学校施設整備室から説明をお願いします。

教育総務課長 資料の2ページで説明

教 育 長 質問はありませんか。

委 員 平成中校区のまちづくり懇話会は、今後、平成中校区を変えていくような会が開かれたということですか。

教 育 部 長 平成中校区内の各地区コミの方と行政機関との意見交換会です。中学校をどうするというのではなく、それぞれ地域の課題や要望等について中学校区ごとに意見交換をするというものです。

教 育 長 幼稚園教諭の採用結果について、説明をお願いします。

教育総務課長 甌地域に限定した幼稚園教諭の募集に2名の応募があり、最終の3次試験まで行いました。当初1名の採用ということで進めてきましたが、幼稚園教諭の年齢に偏りが生じていること、甌地域においては今後も幼稚園は残る見込みであること、また、幼稚園教諭の職員退職後は嘱託職員で補充していますが、幼稚園教諭の免許を持った嘱託職員の定数を確保できず、行政事務嘱託員を雇用している状況です。このようなことから市長にお願いをし、本来1名枠のところを2名の採用をすることで了解していただいたところでした。

教 育 長 他にありませんか。次に、学校教育課の説明をお願いします。

学校教育課長 資料の3ページで説明。併せて前回質問があった県民週間の参加状況等について説明

教 育 長 質問はありませんか。

委 員 平成29年から自転車の保険加入とヘルメット着用が義務化されましたが、ヘルメットを被っていない子を見かけます。現在の状況を教えてください。

学校教育課長 9月議会でヘルメット着用等に関する質問があり、管理職研修会でもお願

いをしたところでは、11月に調査をしたところ、小学校のヘルメット着用率が88.6%、保険加入率が35.2%、中学校は自転車所持率が85.2%、ヘルメット着用率が69.3%、保険加入率が55.7%となっています。ちなみに通学の場合はヘルメット着用率100%、保険加入率が89.1%となっています。保険の種類もいくつかありますので、保護者に周知を図っていきたいと思います。

教 育 長 他に質問はありませんか。次に社会教育課の説明をお願いします。

社会教育課長代理 資料の4ページ、5ページで説明

教 育 長 質問はありませんか。

委 員 16日の青少年育成の日のつどいはお疲れ様でした。地域のためにできることは何だろうという言葉が印象的でうれしく思いました。独居老人世帯を訪問したりして地域の実情を知る活動をされていることが見えてよかったですと思います。気になったのがフレッシュ体験事業でニセコ町の有島武郎記念館に感動したと発表がありました。事前にまごころ文学館で有島3兄弟について勉強をしていると思いますが、それを超える感動があったということでしたが、どのような点が違ったのかと思いました。

教 育 長 私も10年位前に行きましたが、こちらはまごころ文学館となっており、向こうは有島武郎記念館となっています。建物そのものが有島武郎の業績を掲示してあるもので、迫力がこちらの2倍、3倍あります。相互扶助の精神で開拓民に土地を分けて非常に感謝されており、有島武郎についてその実績を掲げてあるということだろうと思います。

教 育 長 他に質問はありませんか。次に文化課の説明をお願いします。

文化課長代理 資料の6ページ、7ページで説明

教 育 長 質問はありませんか。次に中央図書館の説明をお願いします。

中央図書館長 資料の9ページ、10ページで説明

教 育 長 質問はありませんか。

教 育 長 次に少年自然の家の説明は、教育総務課長をお願いします。

教育総務課長 資料の8ページで説明

教 育 長 質問はありませんか。ぼっけもんの挑戦が無事に終わることを願っています。以上で諸般報告を終わります。

教 育 長 本日は、議題はありませんので、その他に入ります。2学期制の導入について説明をします。

教 育 長 12月22日の議員全員協議会で、新学習指導要領改訂に伴う授業時数の確保、教職員の多忙化に伴う業務改善・働き方改革、熱中症等の暑さ対策、キッズウィーク対策等のために2学期制の導入と空調設備の整備を併せて取り組むことの有効性について校長会や学校業務改善委員会でも研究・検

討している。今後、教育委員会定例会で協議し、各団体、研究委員会等の意見を聞きながら望ましい導入のあり方について具体的に研究し、平成31年度に開校する東郷学園をモデル校として空調設備を整備し、2学期制をスタートしたい。その他の学校は段階的に空調設備を整備し、2学期制を導入できないか保護者や関係各団体との理解を得られるよう取り組んでいきたいと説明した旨を報告。

学校教育課長

別紙資料で2学期制とは、夏休みの最後の1週間程度を短縮し、10月の体育の日前後に秋休みを設けて前期と後期に分けるという考え方であること。8月中に授業を再開することになり、暑さ対策のため空調設備が必要となること。主なメリットは、学期末や学期始めの行事等のカットができることで授業時数の確保ができること。通知表作成や諸事務の軽減により教職員の業務改善に繋がること。長いスパンで学習・評価ができること。課題は保護者や児童・生徒が慣れていないこと。県や地区の中体連大会や行事等の調整が必要であること。暑さ対策として教室環境への配慮が必要であると考えていること等を説明。

教 育 長

平成21年頃から校長会で研究して、本市でも2学期制を導入した方がいいのではないかと方向性を出していましたが、学校再編が落ち着いてからということでおいていました。今回の学習指導要領改定により、授業時数確保が非常に厳しくなりました。また、教職員の多忙化対策や暑さ対策がさかんに言われています。これに対応するため空調設備と2学期制を併せて検討しないといけないと考えました。空調設備をすべて整備すれば6億円、国の補助は年間2億円を対象としていることから3年位かけて整備していくことになるのではないかと考えています。東郷学園については、建設後に整備すると余計な経費がかかることから建設と同時に整備していくこととし、他の学校は3年位かけて整備できるように計画しようとしたところです。教育委員の皆様には本日は2学期制の概要を説明させていただき、1月か2月の定例会で協議して方向性についてご了解をいただきながら進めていければと思っています。お気付きの点、質問等がありましたらお願いします。

委 員

2学期制について勉強不足でしたので、調べてみました。20～30授業時数を確保できれば、教員にも子供たちにとってもいいと思います。デメリットとしては、試験が2回しかなく試験の範囲が広がることで学力格差に繋がらないか心配しています。通知表の評価が減ることで保護者は自分の子供がどんな状況か、何が課題かわからないため不安になると思います。また、夏休みが終わるとシルバーウィーク、そして秋休みと子供が集中できずに落ち着かないということもあるようです。中学3年生は冬休み前に

評価が出ないということが、進路指導に影響しないかと思います。教育長が言われたように授業時数確保や空調設備など色々な問題があるので、慎重に進めていかないと子供や現場の先生方が混乱するのではないかと心配します。平成16年度から全国的に2学期制への移行が増えていますが、平成19年度からは減少傾向となり2学期制から3学期制へ戻している自治体もあり、このような実態をどうとらえていくかだと思います。国語や算数などの時間を削って英語の文法の時間を確保するのが見えないところもあります。また、2学期制に移行しても10時間程度しか確保できなかった学校もあるようです。鹿児島県でも2学期制を実施している学校がありますが、あまり変化はなかったようですのでアイデアを出して対応していかないと新しいものはできないと心配しています。仙台市は2学期制を続けているので、メリットは何か調べてみたいと思います。校長や現場の先生方を含めた準備委員会を立ち上げて、やってよかったと言われる改革にするために検討していただきたいと考えます。

学校教育課長

ありがとうございます。色々な方の意見を聞きながら、より良いものを作っていくという方向で進めていかなければならないと考えています。2学期制は、平成20年頃に前の学習指導要領が変わって授業時数が増えたことによりたくさん導入されています。その後はあまり変わらずに20%位の実施状況で推移しています。2学期制を辞めるところや新たに始めるところがあるという状況です。試験が減るという不安については、中学校の場合は学力テストがありますので、保護者と一緒に夏休みにこのような課題に取り組みましょうなどの相談をすることで通知表の代わりに対応できるのではと考えています。もう一つは、前回の学習指導要領改訂は授業時数がメインでしたが、今回の改訂で先生方の働き方改革にもつなげていければと思っています。

教 育 長

10時間程度しか確保できなかったというのは、前回の指導要領で平成20年頃に夏休みの短縮をしないで2学期制を導入したため、思ったほど時数確保ができなかったということです。今回は、時数確保だけではなく教職員の働き方改革をしたいと考えます。夏休み前、冬休み前の2週間は評価に追われ、授業に集中できないというのが実情です。夏休みに評価の準備をして9月に通知表の作成ができれば、教師がゆとりを持って授業に取り組むことができ、これまでのやり方を変えていくことになります。

委 員

教育長が言われたことと今回マスコミで流れたことが少し違って、最初は2学期制が決定したんだなと思いました。保護者の理解と教職員の理解がぶれると後が大変になると思います。2学期制のデメリットも確かにありますが、改革するとなればデメリットばかり目を向けるのではなく、

メリットを強く前に出していくべきだと思います。特に中学校は授業時数が足りないので、ありがたいなと考えます。中学校の部活も含めて、働き方改革はどうしても必要だと思います。私は3学期制でももう少し改革できないか、通知表を2回にしようとか、長期休暇を2日短くしたらとか考えたこともありましたが、大幅に変えるのであれば、2学期制が有効であると思います。子供は慣れると思いますが、保護者の理解を得ることは必要です。保護者は通知表には敏感ですので、評価が足りないとい意見が出そうです。教職員の理解については校長の力量が違いますので、教育委員会がリードしていただければ前に進むのではないかと思います。

- 委員 東郷学園がモデルとして2学期制がスタートすると他の学校との兼ね合いはどうなりますか。
- 教育長 行事関係は東郷学園に配慮しながら、市全体で調整していくこととなります。
- 委員 行事そのものが変わる可能性があるということですか。
- 教育長 中体連の大会は調整が必要になるかもしれません。
- 委員 秋は行事が詰まっているというイメージがあって、1つずらすと全部ずれていくのではと思います。
- 教育長 いくらか調整はしなければいけないと思います。2学期制を念頭に置いて行事を調整する必要があります。東郷学園で空調設備を整備するとせっかくだから、このことにチャレンジしてみようということです。
- 教育長 他にありませんか。
- 学校教育課長 別紙資料でイングリッシュサポートティーチャーについて、新学習指導要領において小学校に英語科が導入されること。移行期間はあるが本市は来年度から5・6年生は週2コマの70時間、3・4年生は週1コマの35時間を新たに確保し完全実施する旨を説明。免許を持たない小学校の先生をどうサポートするかが課題となり、これまではゲストティーチャーとして週に0.17コマ入っていたが、来年度からイングリッシュサポートティーチャーを英語の時間に毎回派遣して担任と一緒に授業をしてもらうため予算要求をしている旨を説明。
- 教育長 質問はありませんか。
- 教育長 1月の行事予定について、教育総務課・学校施設整備室から説明をお願いします。
- (各課所長が資料の11ページから14ページで説明)
- 委員長 その他、委員の皆さんから何かありませんか。
- 委員長 事務局から何かありませんか。
- 学校施設整備室長 東郷学園の建設進捗状況について説明。

教 育 長 質問はありませんか。

教 育 長 以上で平成29年第13回薩摩川内市教育委員会定例会を終了いたします。  
ありがとうございました。